



教育情報

桂川っ子

【問合先】桂川町教育委員会 ☎65・1149



題字：桂川中学校美術部 西村 姫花 さん

幼稚園教育要領の改訂が告示

桂川幼稚園園長 中山 徹一

本年3月、文部科学省は平成30年度から実施する幼稚園教育要領の改訂が告示されました。

今回の教育要領改訂は

- ① 知識及び技能の基礎
- ② 思考力、判断力、表現力などの基礎
- ③ 学びに向かう力、人間性

3つの資質・能力と「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」として10項目です。

そこで、本園は教育内容や方法を再検討して、来年度にむけて準備をしています。

具体的には、遊びをとおして運動や園生活において先生が指導するだけでなく、子ども達の話や意見に耳を傾け、意思を尊重し、子ども達に見通しをも



たらせ、意欲ややる気を育てていきます。

例えば、トウモロコシや豆など収穫したときにはコップなどに入れ、個数や量など調べ「数量や図形」の概念を育てていきます。また、キャベツについて青虫を採り、育ててチョウになつたら天気の良い日に空へ飛ばすなど、子どもの感性を大きく育てています。

今後も桂川町立幼稚園として特色ある幼稚園教育を行ってまいりますので、地域の皆さまのご支援・ご協力お願いいたします。

平成29年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況(その1)

桂川町教育委員会

本年度の4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概略を報告します。

小学校6年生と中学校3年生の国語・算数(数学)の2教科で実施され、A問題とB問題に分けて出題されました。A問題は主に基礎的な知識を問う問題、B問題は主に活用する力を見る問題です。

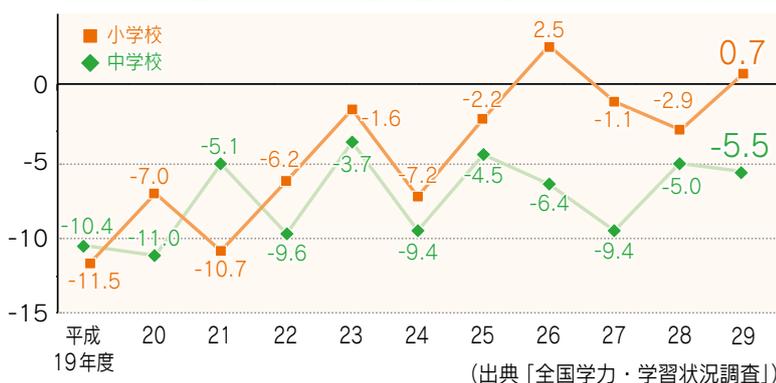
小学校6年生は、国語のB問題で全国平均正答率を6.5ポイントも上回りました。国語・算数の全体でも1.3ポイント上回っています。中学校3年生は、国語・数学ともに全国平均正答率に至りませんでした。

調査が始まった平成19年度から見てみますと、年によって差が開いたり縮まったりはしていますが、全国や県との差は縮小してきております。

小学校5年生と中学校1・2年生に対して6月に実施された「県の学力・学習状況調査」の公表がされます。それを受けて、桂川町としての「学力向上」の検証をしていきたいと考えています。

【学力・学習状況調査の推移】

(小学校6年生・中学校3年生の正答率 桂川町と県平均の比較)



調査は学力の状況だけでなく、学習の状況や生活実態の項目もあります。12月号で併せてお知らせしたいと思っております。

各学校では、学力を伸ばすためにさまざまな教育実践に取り組んでいます。子ども達の学習習慣を身に付けさせるためには、家庭の協力が大切になってきます。町PTA作成の「家庭学習のすすめ」などを活用し、支援を宜しく願います。